

提供日 2019/4/25

タイトル 生産・出荷ともに前月比で低下

静岡県鉱工業指数(平成31年2月分速報)

担当 経営管理部 ICT推進局統計調査課

連絡先 商工班

TEL 054-221-2240



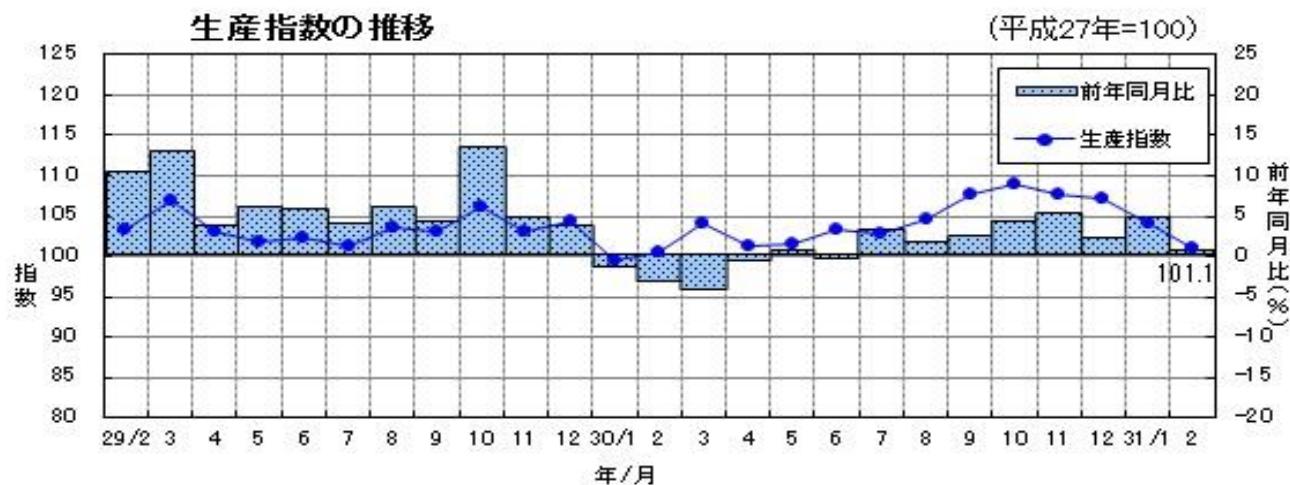
Shizuoka Prefecture

1 生産指数の動き

平成31年2月の鉱工業**生産指数**(季節調整済:平成27年=100)は**101.1**となり、前月比は**2.8%減**と**4か月連続して低下**した。

また、**前年同月比**(原指数)は**0.5%増**と**8か月連続して前年を上回った**。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、化学、プラスチック製品等が上昇する一方、輸送機械、汎用・生産用・業務用機械、食料品・たばこ等が低下した。

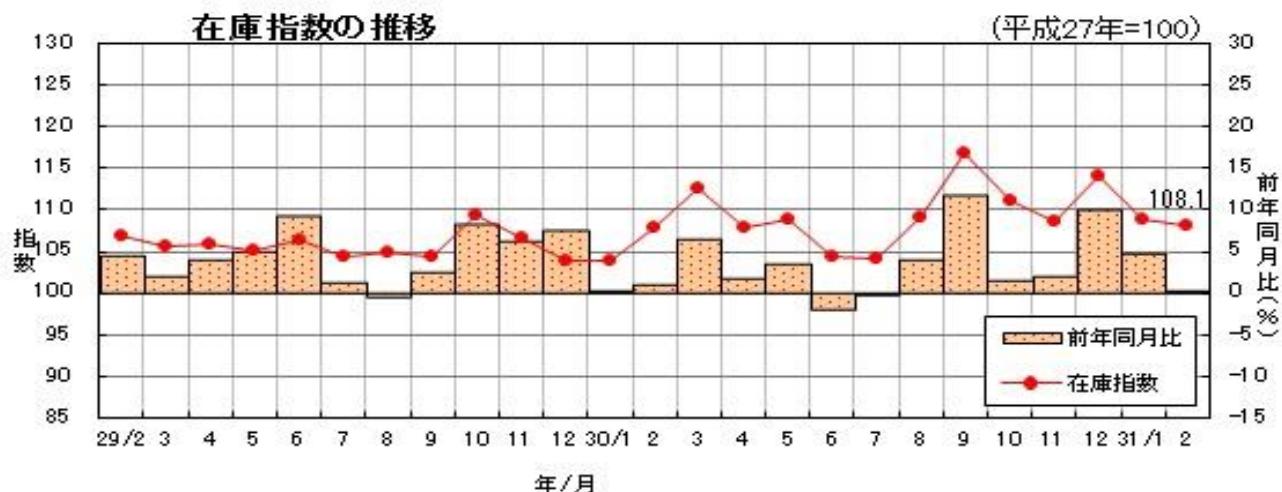


3 在庫指数の動き

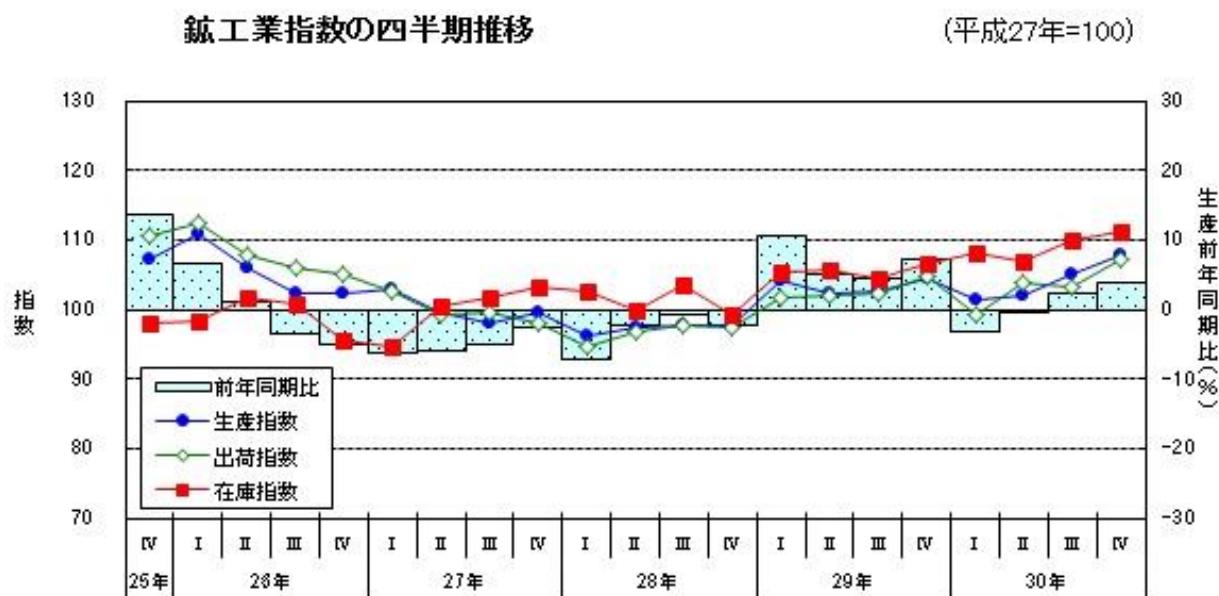
平成31年2月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成27年=100)は108.1となり、前月比は0.6%減と2か月連続して低下した。

また、前年同月比(原指数)0.2%増と7か月連続して前年を上回った。

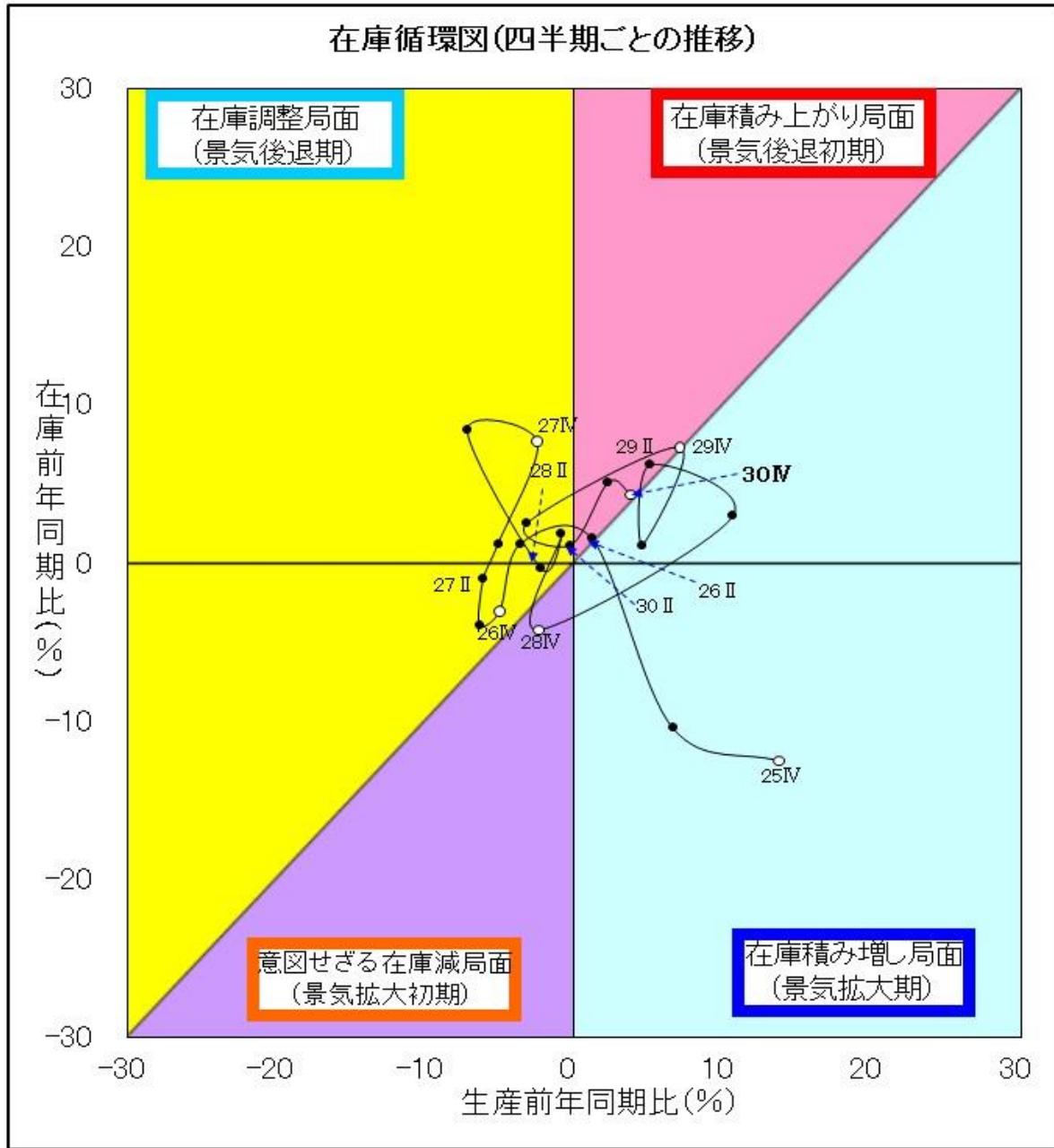
業種別の前月比(季節調整済指數)では、汎用・生産用・業務用機械、非鉄金属、窯業・土石製品等が上昇する一方、輸送機械、電気機械、金属製品等が低下した。



<参考1>四半期推移及び在庫循環図



在庫循環



- ・ 在庫積み増し局面（景気拡大期）
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対応する。
- ・ 在庫積み上がり局面（景気後退初期）
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超える、在庫の積み上がりが起こる。
- ・ 在庫調整局面（景気後退期）
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ 意図せざる在庫減局面（景気拡大初期）
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。